SCIENCE FESTIVAL 2027

AI とひらく 科学者フェス

ひらけ！　AI と！

UNLOCKING SCIENCE WITH AI



開催趣意書・募集要項

2026 年 11 月 11 日 改訂　V3.3

2027. 2. 13 SAT - 2. 14 SUN

国際連合大学 | United Nations University （UNU）

主催（5 団体）

- 特定非営利活動法人 日本科学振興協会（JAAS）
- 株式会社エッセンス（esse-sense）
- 一般社団法人 海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
- 科学技術イノベーション政策プラットフォームプロジェクト
- 特定非営利活動法人 ケイロン・イニシアチブ

MESSAGE

開催趣意

ひらけ！ AI と！

AI は、科学の可能性を大きく広げています。これまで見つけられなかった答えに近づき、分野の壁を越え、新しい発見を生み出します。そしてその変化は、研究の進め方だけでなく、科学と社会の関係にも及んでいます。けれども、何を問い、誰のために研究し、その成果をどのような未来につなげるのか。それを考え、選び取るのは、私たちです。

サイエンスフェス 2027「**AI とひらく科学者フェス**」は、研究者、学生、企業、行政、そして市民が出会い、科学のこれからを共に考える場です。最先端の研究に触れるだけでなく、研究する人の思いと、暮らしや仕事の中にある願いや疑問を持ち寄る。異なる立場の声に耳を傾け、まだ共有されていない問いを見つけ、次の研究や協働へとつなげていきます。

その対話を、日本の中だけで終わらせません。海外で活躍する研究者や次世代を担う人々とつながり、日本の科学の魅力と課題を世界と分かち合います。世界から学び、日本からも問いかける。国や言葉、分野や世代を越えた出会いから、新しい研究、事業、政策、教育の可能性をひらきます。

会場は、東京・青山の国際連合大学。科学振興、産学連携、国際交流、政策対話、次世代育成に取り組む 5 団体が、それぞれのつながりと経験を持ち寄ります。講演、対話、展示、ポスター、参加型企画を通じて、科学を「会いに行けるもの」にし、誰もが自分の言葉で科学の未来に参加できる 2 日間をつくります。

研究者には、次の問いと仲間を。学生には、未来の自分につながる出会いを。企業や行政には、共に取り組む課題と協働のきっかけを。市民には、科学と自分の暮らしをつなぐ対話を。

AI がひらく可能性を、人と人とのつながりによって、社会の可能性へ。

科学の未来は、まだ決まっていません。だからこそ、ここに集い、語り合い、共につくりたい。「**AI とひらく科学者フェス**」で、その一歩を皆さまと踏み出します。

2026 年 10 月吉日
AI とひらく科学者フェス 2027 運営委員会

ひらけ！AI と！

論文を探す時。書く時。レビューしてもらう時。
コードを書く時。研究や開発に行き詰まった時。
今や AI は、研究に欠かせない道具になった。

いっぽうで「ノーベル賞を受賞する研究は
AI が思いつかない問いからはじまる」という考えがある。

違う分野の研究。企業が抱える意外な課題。
留学先で見た景色。知らないからこそ出てくる素朴な疑問。

偶然の出会いが、新しい問いの種になるかもしれない。
AI との対話から、どんな未来が生まれるだろう、
人との対話から、どんな未来が生まれるだろう。

AI と新しい時代のトビラを開き、新しい道を拓こう。



EVENT OVERVIEW

開催概要

名称	AI とひらく科学者フェス（Science Festival 2027）
テーマ	**ひらけ！AI と！**
会期	2027 年 2 月 13 日（土）・14 日（日）
会場	国際連合大学（United Nations University：UNU） 〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70
公式サイト	https://sciencefest.jaas.science
開催形式	現地開催を基本とし、一部プログラムを後日アーカイブ配信（予定）
対象	研究者、学生、企業・スタートアップ、行政・自治体、教育関係者、市民ほか
参加費	無料（参加には登録が必要です）
参加規模	会期 2 日間で延べ約 1,000 名を目標
使用言語	日本語・英語（プログラムにより異なる）
主催（5 団体）	特定非営利活動法人 日本科学振興協会（JAAS） 株式会社 エッセンス（esse-sense） 一般社団法人 海外日本人研究者ネットワーク（UJA） 科学技術イノベーション政策プラットフォームプロジェクト 特定非営利活動法人 ケイロン・イニシアチブ
後援	内閣府 [1)] 文部科学省 [1)2)] 経済産業省 [1)2)] 日本学術会議 [2)] 日本学術振興会 [2)] 科学技術振興機構 [1)2)] 日本医療研究開発機構 [2)] 1)JAAS 学生アイデアファクトリー2026 実績 2)JAAS 会いに行ける科学者フェス 2023 で実績 すべて申請予定
運営事務局	AI とひらく科学者フェス 運営事務局（JAAS 内） 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 E-mail：sciencefest@jaas.science

WHY THIS FESTIVAL, WHY NOW

開催目的と意義

ひらけ！ AI と！

AI が科学を変える時代に、何を問い、誰のために研究し、どのような未来につなげるのか。分野や国境、立場を越えた対話から共に考えます。

01 DISCOVER　AI がひらく新しい科学

AI による発見、予測、生成、統合が、研究の問いの立て方や分野間連携をどう変えるのか。最先端の事例と、その先にある可能性を共有します。

02 ACT　対話を次の実践へつなげる

会場で生まれた気づきや関係を、共同研究、人材育成、政策提言、地域・企業とのプロジェクトへつなげます。さらに、科学者と市民が継続的に出会い、対話できる機会を各地へ広げます。

03 CONNECT　科学と社会の対話を深める

研究者、市民、企業、行政、教育関係者が同じ場で対話し、科学への信頼、研究公正、倫理、政策、社会実装について、それぞれの視点を持ち寄ります。

04 NEXT GENERATION　学生・若手が主役になる

完成された成果だけでなく、問いやアイデアの段階から参加できる機会を設けます。世代や立場を越えた対話を通じ、次代の研究者と科学を支える人材を育てます。

05 GLOBAL　日本の科学を世界へつなぐ

海外で活躍する研究者や国際的なネットワークと連携し、国際的なプログラムを共につくることで、日本の研究環境や科学技術政策を世界の視点から考え、継続的な協働の入口をつくります。

DISCOVER ｜ ACT ｜ CONNECT ｜ NEXT GENERATION ｜ GLOBAL

AI と出会い、人と出会い、新しい問いをひらく。

ORGANIZERS & COLLABORATION

主催体制

本フェスは、科学振興、国際ネットワーク、政策対話、人材育成、市民参加に強みを持つ 5 団体が共同で主催します。各団体が対等な立場で企画・運営に参画し、分野や組織を越えた対話と実践を生み出します。

主催団体

団体	主な強み・役割等
特定非営利活動法人 日本科学振興協会（JAAS）	科学と社会の対話／研究環境・科学政策／若手・学生企画 https://jaas.science/
株式会社 エッセンス（esse-sense）	人・社会・自然をつなぐ価値創造／企業・地域との共創 https://esse-sense.com/
一般社団法人 海外日本人研究者ネットワーク（UJA）	海外研究者ネットワーク／国際連携／若手研究者支援 https://www.uja-info.org/
科学技術イノベーション政策プラットフォームプロジェクト	科学技術・イノベーションと政策をつなぐ対話 https://gist.grips.ac.jp/
特定非営利活動法人 ケイロン・イニシアチブ	家族・次世代・市民と科学をつなぐ実践 https://www.cheiron.jp/

委員会

AI とひらく科学者フェス 2027 運営委員会

氏名	所属
◎北原 秀治	東京女子医科大学／日本科学振興協会（JAAS）／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
深澤 知憲	株式会社エマージングテクノロジーズ／日本科学振興協会（JAAS）
吉田 智美	筑波大学／日本科学振興協会（JAAS）
西村 勇哉	株式会社 エッセンス（esse-sense）
松山 聡子	シンシナティ小児病院／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
隅蔵 康一	政策研究大学院大学
足立 剛也	埼玉医科大学／ケイロン・イニシアチブ

◎：運営委員長

プログラム委員会

氏名	所属
◎田中 智之	京都薬科大学／日本科学振興協会（JAAS）

三輪 秀樹	岩手医科大学／日本科学振興協会（JAAS）
吉田 智美	筑波大学／日本科学振興協会（JAAS）
赤木 紀之	福岡工業大学／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
稲葉（井上） 理美	高エネルギー加速器研究機構（KEK）／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
江島 弘晃	長崎国際大学／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
千住 洋介	岡山大学／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）
北原 秀治	東京女子医科大学／日本科学振興協会（JAAS）／海外日本人研究者ネットワーク（UJA）

◎：プログラム委員長

PROGRAMME

プログラム構成

1 日 3 枠（セッションによる）・3 会場を基本に、2 日間でメインセッション 18 枠（協賛 8 枠・単独共催 4 枠・主催者企画等 6 枠）を構成します。別途、少人数のフリー企画、展示、ポスター、交流を組み合わせます。

三つのプログラム軸

TRACK A RESEARCH, DEVELOPMENT

生命科学、材料、環境、宇宙、人文・社会科学など、AI が研究の発見や方法をどう変えるかを扱います。さらに、研究費、研究基盤、データ、研究公正、評価、キャリア、人材育成など、日本の研究環境をよりよくするための基調講演、ライブトーク、分野横断型の対話を展開します。

TRACK B SCIENCE, BUSINESS & INNOVATION

研究者、企業、スタートアップ、投資家、学生・若手研究者が集い、産学連携、起業、知的財産、研究開発投資、技術移転、地域・企業との共創を考えます。アイデア発表、ピッチ、展示・デモンストレーションなどを通じ、研究から新たな価値や事業を生み出す機会をつくります。

TRACK C GLOBAL, SCIENCE & POLICY

海外で活躍する研究者、国際的なネットワーク、行政・政策関係者が、科学技術政策、国際共同研究、人材流動、科学外交、AI・データをめぐるルールなどを議論します。国際的なプログラムを共につくり、日本の科学を世界へつなぐ継続的な協働の入口をつくります。

基本タイムテーブル（公式サイトで随時更新）

2 月 13 日（土）

時間	①Elizabeth Rose Conference Hall 5 階・メイン 1	②Reception Hall 2 階・メイン 2	③Committee Room 2 5 階・メイン 3	④Committee Room3 5 階・メイン 4
10:30–12:00	SESSION 1	SESSION 2	SESSION 3	フリー企画
13:00–14:30	SESSION 4	SESSION 5	SESSION 6	フリー企画
15:30–17:00	SESSION 7	SESSION 8	SESSION 9	フリー企画

2 月 14 日（日）

時間	①Elizabeth Rose Conference Hall 5 階・メイン 1	②Reception Hall 2 階・メイン 2	③Committee Room 2 5 階・メイン 3	④Committee Room 3 5 階・メイン 4
10:30–12:00	SESSION 10	SESSION 11	SESSION 12	フリー企画
13:00–14:30	SESSION 13	SESSION 14	SESSION 15	フリー企画
15:30–17:00	SESSION 16	SESSION 17	SESSION 18	フリー企画

※各セッションのテーマ・登壇者・協賛枠の配置は調整中。

使用ホール・ルーム

①Elizabeth Rose Conference Hall（5 階・100 人以上）
②Reception Hall（2 階・100 人以上）
③Committee Room 2（5 階・30〜50 人）をメインセッションに使用。
④Committee Room 3（5 階・20 人程度）はフリー企画。
⑤Annex Terrace（1 階）・Reception Hall 前広場（2 階）は展示・ポスター。13 日 17:00–18:00 に Terrace を懇親会用に転換し、展示物の保管・翌朝の再設営を調整します。
⑥Annex Hall は 2 月 14 日のみ追加企画で使用。

懇親会・並行企画

懇親会：2 月 13 日（土）18:00–20:00（予定）
会場：⑤Annex Terrace（1 階）
会費：別途（決定後にご案内）
展示：8 小間（2 日間通し）／ポスター各日 35 件／④Committee Room 3 でフリー企画。

JOIN THE FESTIVAL

ご協力のお願い

> **科学の未来を、皆さまと共につくる。**

「AI とひらく科学者フェス」は、AI による研究の進歩を出発点に、人と人との対話を通じて科学と社会の未来を共につくる場です。違う分野の研究、企業の課題、海外での経験、市民の素朴な疑問が、新しい問いの種になります。国内外の研究者、学生、企業、行政、市民が出会い、研究成果を誰に届け、どう生かすのかを考え、次の研究、教育、政策、事業へつなげます。

本趣旨にご賛同いただける企業、財団、大学・研究機関、行政・自治体、学協会、市民団体の皆さまには、次のような形でのご協力をお願いできれば幸いです。

01 プログラムの共創

AI for Science、科学技術政策、研究人材、国際連携、科学と社会などをテーマとしたセッションやワークショップの共同企画。

02 展示・デモンストレーション・ポスター発表

研究成果や科学関連の製品・活動を、分野外の参加者にもわかりやすく紹介。AI を活用した研究に限らず、幅広い成果・活動報告を募集します。

03 学生・若手研究者への支援

次世代がアイデアを発表し、研究者や企業、市民と交流する機会の提供、参加・招聘への支援。

04 広報・運営・資金面での支援

多様な参加者へ情報を届け、安全で質の高いフェスを実現するための広報協力、物品・技術提供、協賛・寄付等。

協賛区分、共催セッション、広告、展示、申込・取消規定の案を、次頁以降にまとめています。
個別のご相談も承っておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

GUIDELINES

各種募集要項

A	**寄付金募集要項** 企業・財団・個人からのご寄付	P.12
B	**スポンサーシップ協賛要項** 4 区分の協賛プランと特典（単独共催・展示は別募集）	P.13
C	**共催セッション募集要項** 90 分セッションの共同企画・運営	P.15
D	**プログラム集・Web 広告募集要項** 冊子、PDF、サイト、幕間スライド	P.16
E	**企業展示・ポスター発表要項等** 企業展示 8 小間／ポスター発表 70 枠（各日 35 台）	P.17
F	**申込日程・共通規定等** 審査、請求、取消、不可抗力	P.21
G	**申込書・企画書の見本** 協賛／寄付、セッション、展示／広告／ポスター	P.25

GUIDELINE A

寄付金募集要項

募金名称	AI とひらく科学者フェス 寄付金
目標額	1,500,000 円
募集対象	企業、財団、大学・研究機関、学協会、団体、個人
募集期間	2026 年 9 月 7 日（月）〜2027 年 2 月 28 日（日）
使途	会場、技術、学生・若手支援、登壇者招聘、広報、アクセシビリティ等
申込方法	所定フォームまたは本書の申込書見本を用い、運営事務局へ提出
振込方法	申込受理後、運営事務局から振込先と手続を個別に案内

寄付者へのご報告

受領確認：入金確認後、受領書または領収書を発行します。

活動報告：開催後、実施報告と収支概要を送付します。

芳名掲載：希望者のみ、公式サイトまたは報告書に名称を掲載します。企業ロゴ掲載は事前確認を行います。寄付金額は総額のみ公開し、個別寄付者と寄付額を結び付ける公開は行いません。

匿名寄付：一般公開時に匿名を希望するご寄付も受け付けます。事務連絡に必要な氏名・連絡先は事務局へお知らせください。

留意事項

> **税制上の取扱い** 現時点では寄付金控除等の税制優遇はありません。会計・税務上の処理は、寄付者ご自身の専門家へご確認ください。

返金：入金後の返金は原則として行いません。ただし開催中止時は、未使用額の取扱いを個別に案内します。寄付には本項の返金規定を適用し、協賛・共催・展示・広告等には各募集要項・共通規定を適用します。

使途指定：希望がある場合は、学生・若手支援、国際連携、アクセシビリティ等から相談できます。

反社会的勢力等：法令・公序良俗に反する資金、主催者の独立性を損なう条件付き寄付は受領しません。

GUIDELINE B

スポンサーシップ協賛要項

区分	金額（税抜）	備考
ダイヤモンド	1,000,000 円	3 口募集　①か②の冠共催 90 分 1 枠、 表紙 2・3・4 のいずれか 1 頁＋本文 1 頁、ロゴ、幕間
プラチナ	500,000 円	5 口募集　①か②の共催 90 分 1 枠、本文広告 1 頁、ロゴ、幕間
シルバー	200,000 円	8 口募集　標準ロゴ、幕間スライド、本文広告 1/2 頁
ブロンズ	100,000 円	10 口募集　標準ロゴ掲載

※表紙 2・3・4 はダイヤモンド 3 社に各 1 頁。掲載位置は申込時に調整します。展示は特典に含まず別申込。冠表記は国連大学の推薦・保証を意味しません。 懇親会の一般参加は会費別途。ダイヤモンド・プラチナの招待人数は個別調整。

特典比較

特典	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー	ブロンズ
公式サイト プログラム集	◎ 最上位ロゴ	○ 大ロゴ	○ 標準ロゴ	○ 標準ロゴ
共催セッション	◎ 冠枠	○ 枠	—	—
冊子広告	○ 表紙 1 頁 + 本文 1 頁	○ 本文 1 頁	○ 本文 1/2 頁	—
幕間スライド	○ 30 秒/ループ放映	○ 10 秒/ループ放映	○ 5 秒/ループ放映	—
開催後レポート	○ 共通版＋個別報告	○ 共通版＋個別報告	△ 共通版	△ 共通版
ポスター	2 枚	—	—	—
懇親会参加	○ 無料招待枠	○ 無料招待枠	△ 会費別途	△ 会費別途

GUIDELINE B

協賛素材・申込手続

素材仕様

ロゴ	AI／EPS／SVG／PDF 推奨。PNG も可。背景透過、高解像度、10MB 以内
幕間スライド	PowerPoint または PDF、16:9。動画は MP4（H.264）、音声有無を明記
広告原稿	A4 判。完全データ PDF、CMYK、画像 300dpi 以上、フォント埋め込み
紹介文	日本語 200 字以内・英語 120 words 以内。URL 1 件まで
提出期限	ロゴ・紹介文：2027 年 1 月 8 日／広告完全データ（PDF）：2027 年 1 月 15 日（金）／その他の最終素材：2027 年 1 月 15 日［案］

申込から掲載まで

1. **申込**
   申込書と団体概要を sciencefest@jaas.science へ提出
2. **内容確認**
   テーマ適合性、公共性、会場条件を主催者が確認
3. **受理通知**
   区分、特典、提出物、請求条件を文書で通知
4. **請求・入金**
   請求書発行日から 30 日以内を基本とする
5. **素材校正**
   主催者がレイアウトを作成し、必要に応じて掲載内容を確認
6. **実施・報告**
   会期後、全協賛区分に共通の開催報告を送付。ダイヤモンド・プラチナには追加で個別報告を実施

掲載・表現上の注意

名称・ロゴ：国連大学の名称・略称・エンブレムは、会場表示を除き事前の書面承認なく使用できません。

広告表現：科学的根拠を欠く表現、誤認を招く比較、政治・宗教的勧誘、公序良俗に反する内容は掲載できません。

修正依頼：会場規定・主催者方針に照らし、表現の修正または掲載見送りをお願いする場合があります。

GUIDELINE C

共催セッション募集要項

AI for Science を軸に公共性のある対話を共につくる 90 分枠です。

開催日	2027 年 2 月 13 日（土）または 14 日（日）
時間枠	10:30–12:00／13:00–14:30／15:30–17:00 のいずれか
形式	現地 90 分。講演、パネル、ワークショップ等。配信・収録は個別協議
会場候補	協賛特典：①Elizabeth Rose Conference Hall・②Reception Hall／単独共催：③Committee Room 2
言語	日本語または英語。二言語運営・通訳は別途調整
共催費	ダイヤモンド・プラチナは協賛特典に含む。単独共催：300,000 円／90 分 1 枠（税抜）
募集数	メイン 18 枠のうち計 12 枠（D3・P5・単独共催 4）

共催費に含まれるもの

会場	確定した時間内の会場使用
標準設備	備付スクリーン、プロジェクター、標準マイク等
基本運営	全体進行管理、受付・誘導、公式サイト・プログラム掲載
企画調整	プログラム委員会との調整、標準の登壇者連絡

共催費に含まれないもの

技術：追加映像・配信・収録、特殊音響、外部回線、同時通訳、字幕等。
登壇者：謝金、旅費、宿泊費、招聘手続等。
制作・運営：独自看板、装飾、配布物、専属進行、共催者独自のスタッフ。

GUIDELINE D

プログラム集・Web 広告募集要項

広告種別	料金（税抜）	募集数
プログラム集本文（カラー1 頁）	88,000 円	4 枠
プログラム集本文（カラー1/2 頁）	55,000 円	6 枠
ロゴ掲載のみ（冊子、Web）	33,000 円	10 枠程度
幕間スライド 10 秒相当	55,000 円	10 枠程度

媒体概要

プログラム：A4 判・約 1,000 部（予定）、PDF 版も電子的に配布。
Web：大会公式ページの協賛・パートナー欄に会期後 3 か月程度掲載［案］。
幕間：会場転換中に 16:9 スライドまたは短尺動画として上映。音声は会場ごとに調整します。

完全データ仕様

1 頁	仕上がり 210×297mm／塗り足し各 3mm／PDF／CMYK／画像 300dpi 以上
1/2 頁	仕上がり 210×148.5mm 相当／塗り足し各 3mm／PDF／CMYK
ロゴ	AI・EPS・SVG・PDF 推奨。PNG 可。背景透過、高解像度
動画	MP4（H.264）、1920×1080、16:9。上映秒数を厳守
締切	申込：2026 年 12 月 31 日／広告完全データ（PDF）：2027 年 1 月 15 日（金）

> **校正・責任** 完全データを原則とし、主催者は誤字・色味・再現性について責任を負いません。内容審査により修正をお願いする場合があります。

GUIDELINE E

企業展示・デモンストレーション募集要項

企業・団体展示を募集します。募集は 8 小間です。
配置・通路は会場確認後に確定します。

会場候補	Annex Terrace（1 階）・Reception Hall 前広場（2 階）。配置は要相談
募集数	展示 8 小間。スポンサー特典とは別の有料出展枠
2 日間出展	300,000 円／1 小間（税抜）
申込単位	2 日間通しを基本とし、1 日出展・支援枠は個別相談（予算外）
出展証	展示 1 小間につき 2 枚。

基本小間（卓上展示：現状案）

占有目安	幅 2,000 × 奥行 1,500mm 程度（予定）。最終レイアウトで確定
備品	長机 1 台（W1,800×D600 程度）、椅子 2 脚、出展名表示
電源	100V・500W 程度を標準想定。容量・口数は事前申告
装飾	自立式のみ。壁面への釘、強粘着テープ、穴あけは不可
通信	共用 Wi-Fi は保証対象外。安定回線・大容量通信は出展者負担

スケジュール（予定）

日付	時間	内容
2 月 13 日（土）	**9:30–10:15**	当日搬入・設営
	10:30–17:00	展示・デモ
	17:00 以降	Terrace は懇親会設営
2 月 14 日（日）	**9:30–10:15**	再入場・点検
	10:30–17:00	展示・デモ
	17:00–18:00	搬出・原状回復

企業展示・デモ運営条件

出展料金に含まれるもの

基本：所定スペース、基本机・椅子、出展名表示、公式サイトへの出展者名掲載。
全体運営：共通受付、会場案内、基本警備・清掃、共通プログラムへの掲載。

含まれないもの

設備：追加電源、専用回線、特殊什器、モニター、音響、装飾、運搬、廃棄物処理。
人員：出展スタッフの人件費、旅費、宿泊費、保険、通訳。
飲食：試飲・試食を含む食品提供。実施する場合は会場・指定ケータリング会社の事前承認が必要です。

安全・展示内容

出展者は、会場の安全確保と円滑な運営のため、以下の事項を遵守してください。

1. 禁止物

・ 火気、可燃物・危険物、強い臭気を発する物品は持ち込まないでください。
・ 法令に反する物品、未承認の生体・化学物質は持ち込み・展示できません。

2. 音・光

・ 他のプログラムの進行を妨げる大音量や強い点滅光を伴う演出は禁止します。
・ 展示物や機材を通路にはみ出して設置するなど、通行の妨げとなる行為は禁止します。

3. 販売・勧誘

・ 会場内での商品の即売や契約行為、過度な営業勧誘は禁止します。
・ 政治・宗教的な勧誘や活動は認めません。

4. 個人情報

・ 参加者の個人情報を取得する場合は、本人の同意を得てください。
・ 情報の利用目的と管理方法を明示し、適切に管理してください。

5. 管理責任

・ 展示物や貴重品は、出展者の責任で管理してください。
・ 盗難、紛失、損傷については、原則として出展者の負担とします。

6. 原状回復

・ 会期終了後は、使用した備品・床・壁などを元の状態に戻してください。
・ 展示物や資材、廃棄物などは残さず、すべて持ち帰ってください。

7. 事前申告

・ 電力、ネットワーク、搬入物、デモの内容・動作、音・光、撮影、食品、危険性のある素材については、2027 年 1 月 15 日までに事務局へ申告してください。

GUIDELINE E

ポスター発表募集要項

大学・研究機関・企業の研究者、学生、シチズンサイエンス研究者による研究発表や、科学的根拠のある製品・活動紹介を募集します。AI を活用した研究に限定せず、幅広い科学研究の成果・活動報告を歓迎します。企業展示とは別枠です。

募集枠	2 日間で計 70 枠。1 日 35 台のパネルで展示し、各日入れ替えます。
開催日	2027 年 2 月 13 日（土）・14 日（日）。希望日を申込時に提出。
会場候補	Annex Terrace（1 階）・Reception Hall 前広場（2 階）。配置は会場確認後に確定。
発表内容	研究発表、科学関連の製品・活動紹介。分野外の参加者にもわかりやすく説明してください。
発表者参加費	12,000 円／発表者 1 名（税抜）。懇親会の会費は別途。
展示方式	現地でのポスター発表。1 枠 1 件・1 日掲示。指定日に掲示・撤去します。
申込内容	題名、氏名・所属、連絡先、概要、希望日、研究分野・手法、AI 活用状況を提出。
申込締切	2026 年 12 月 31 日［案］。プログラム委員会が審査し、採否・発表日を通知します。
掲示仕様	パネル：幅 900 × 高さ 1750mm。掲示方法・説明時間等は採択後にご案内します。

発表・掲示にあたって

掲示 9:30–10:15、発表 10:30–17:00 を予定しています。13 日は懇親会への転換のため 17 時終了後に速やかに撤去してください。

制作・印刷・運搬は発表者負担。机・電源等は含みません。

法令・研究倫理・知的財産権を遵守し、科学的根拠・出典を明示してください。発表に関連する現在および過去 3 年間の利益相反・関連利益（企業所属、研究支援、株式・特許、AI・機器等の提供など）を開示し、該当なしの場合もその旨を申し込み時に記載してください。

GUIDELINE E

お申込み等

お申込み方法・ご相談

巻末の該当する申込書・企画書（FORM A〜C）にご記入のうえ、メールに添付してください。件名には「AI とひらく科学者フェス／申込区分／団体名または氏名」をご記載ください。
ご相談段階では、団体名・担当者氏名・連絡先・ご希望の内容をメール本文にご記載いただけます。内容確認後、事務局から受理・採択およびお支払いについてご案内します。

AI とひらく科学者フェス運営事務局（JAAS 内）　E-mail：sciencefest@jaas.science

振込先

銀行名	PayPay 銀行
支店名・店番号	ビジネス営業部（005）
預金種目	普通預金
口座番号	8699639
口座名義	特定非営利活動法人日本科学振興協会年次大会
口座名義（カナ）	トクヒ）ニホンカガクシンコウキョウカイネンジタイカイ

お振込みにあたって

申込受理・採択後、事務局の案内または請求書をご確認のうえ、お振込みください。
支払期限は請求書発行日から 30 日以内を原則とし、振込手数料は申込者のご負担となります。寄付は受理後のご案内に従ってお手続きください。
振込名義が申込者名と異なる場合は、事務局へ事前にお知らせください。

GUIDELINE F

申込日程・共通手続

日程	手続・提出物
2026 年　9 月 15 日	募集開始・個別相談開始
2026 年 11 月 30 日	一次締切：共催セッション・大口協賛
2026 年 12 月 31 日	**最終締切：協賛・共催・展示・広告・ポスター**
2027 年　1 月　8 日	ロゴ、紹介文、登壇者情報
2027 年　1 月 15 日	広告完全データ（PDF）、技術票、展示電源、最終プログラム素材
2027 年　2 月　2 日	スタッフ名簿、搬入出、最終進行表
2027 年　2 月 13–14 日	AI とひらく科学者フェス 開催
2027 年　3 月 31 日まで	開催報告・精算

※日程に変更が生じた場合は、別途ご案内します。

申込から実施までの流れ

1. **提出**
   申込書・団体概要・必要に応じ企画書等を sciencefest@jaas.science へ提出
2. **確認**
   主催者が内容・枠・会場適合性を審査し、必要事項を照会
3. **確認・審査**
   一次締切までは企画内容を含めて審査し、以後は残枠に限り申込完了順で受け付けます。
   受理通知書に区分、金額、特典、条件、提出期限を記載
4. **通知・請求**
   採択後に請求書を発行。原則として発行日から 30 日以内に支払
5. **最終調整**
   校正、技術、登壇者、展示、搬入出を確定
6. **実施**
   会期終了後、必要に応じ報告・精算を実施

GUIDELINE F

請求・取消・共通・遵守事項等

請求・支払

本書に記載する料金は、特段の記載がない限り税抜金額です。課税対象となる料金には、別途消費税を加算して請求します。

寄付金は、対価性のある料金とは区別して取り扱います。

請求時期：採択・枠確定後に請求書を発行します。

支払期限：請求書発行日から 30 日以内を原則とします。個別事情は申込前にご相談ください。

振込手数料：申込者の負担とします。

未入金：期限までに入金または連絡がない場合、採択を取り消すことがあります。

申込者都合による取消料

受理通知後〜2026 年 12 月 31 日	請求額の 50％
2027 年 1 月 1 日以降	請求額の 100％

取消の意思表示は書面または電子メールで行い、運営事務局が受領した日を基準とします。
既に発生した外注費等が取消料を上回る場合は個別に協議します。

変更・中止・不可抗力

天災、感染症、交通障害、法令・行政上の要請、会場都合その他主催者の責に帰さない事情により、開催形式・日時・会場・プログラムを変更し、または中止する場合があります。中止時は、受領済み金額から既に発生し回収不能な準備費用を控除した残額を返金します。申込者側の旅費、制作費、逸失利益等は補償しません。

共通・遵守事項

支援・寄付の公開：寄付者名は希望者のみ掲載し、寄付金額は総額のみ公開します。個別寄付者と寄付額を結び付ける公開は行いません。拠出いただきました各社がご支援・寄付を公表することを了承します。

行動規範：ハラスメント、差別、威圧的行為を認めません。参加者・スタッフは主催者および国連大学の指示に従ってください。

撮影・記録：撮影可否と利用目的を事前申告し、登壇者・参加者の同意と個人情報保護に配慮してください。

知的財産：提供素材の権利処理は申込者が行い、主催者に広報・記録目的の非独占的利用を許諾します。

主催者裁量：会場規定、科学的妥当性、安全性、公共性に照らし、内容変更または実施見送りを求める場合があります。

FORM A

寄付・協賛申込書

> **提出先：sciencefest@jaas.science（運営事務局）**
>
> **本様式に記入し、メール添付でお送りください。個人寄付は代表者・部署・役職の記入不要。氏名・住所・連絡先は事務連絡用にご記入ください。**

申込区分	□寄付　□ダイヤモンド　□プラチナ　□シルバー　□ブロンズ　□その他
団体名／氏名	
代表者／役職	
所在地／住所	〒
Web サイト	
担当者／本人	氏名：　　部署・役職：
連絡先	E-mail：　　TEL：
請求先	□上記と同じ　□別（名称・住所・宛名を記入）
申込金額	金　　円（税抜／寄付の場合は対象外）
掲載名称	和文：　　英文：
ロゴ掲載	□希望する　□希望しない
希望・備考	使途指定、特典の組合せ、現物協賛等：　一般公開時の匿名希望（寄付）：□有　□無

確認・同意

□募集要項、取消規定、会場規定を確認し、その内容に同意します。
□申込内容および提供素材について、必要な権利・許諾を有しています。
□反社会的勢力に該当せず、これらと関係を有していません。

申込日	202　年　　月　　日
署名者	役職（団体の場合）：　　氏名：　　印／署名

FORM B

共催セッション企画書

> **提出先：sciencefest@jaas.science（運営事務局）**
>
> **本様式に記入し、メール添付でお送りください。担当者氏名・連絡先は事務連絡用にご記入ください。※未記入の項目については、事務局または担当者にご相談いただけます。**

共催者名	
セッション仮題	和文： 英文：
企画目的	本フェスのテーマとの関係、参加者に持ち帰ってほしいこと：
概要	200〜400 字程度：
希望日時	区分：□D 特典　□P 特典　□単独共催 30 万円（税抜） 第 1 希望：　　第 2 希望：　　第 3 希望：
形式	□講演　□パネル　□ワークショップ　□デモ　□その他
想定言語	□日本語　□英語　□二言語　　通訳：□要　□不要
登壇候補	氏名／所属／役割／確定状況：
進行案	導入・話題提供・討論・質疑・まとめの時間配分：
必要技術	投影、音声、配信、収録、オンライン登壇、字幕、照明等：
利益相反・広報	共催者との関係、製品名の扱い、録画・写真利用の可否：
担当者	氏名：　　E-mail：　　TEL：
請求先	担当者と異なる場合のみ記載（名称・住所・宛名・E-mail）

確認・同意

□募集要項、取消規定、会場規定を確認し、その内容に同意します。
□申込内容および提供素材について、必要な権利・許諾を有しています。
□反社会的勢力に該当せず、これらと関係を有していません。
□登壇者の多様性、科学的妥当性、利益相反、アクセシビリティに配慮しました。
□単なる商品販売・営業勧誘を目的とせず、公共的な学び・対話を提供します。
□採択後、プログラム委員会と内容・登壇者・表現を調整することに同意します。

申込日	202　年　　月　　日
署名者	役職：　　氏名：　　印／署名

FORM C

展示・広告・ポスター申込／仕様票

> **提出先：sciencefest@jaas.science（運営事務局）**
>
> **本様式に記入し、メール添付でお送りください。担当者氏名・連絡先は事務連絡用にご記入ください。※未記入の項目については、事務局または担当者にご相談いただけます。**

申込区分	□広告 1 頁　□広告 1/2 頁　□ロゴ掲載（プログラム集・Web）　□幕間広告　□展示 2 日　□ポスター
法人・団体名	
展示・広告・ポスター名称	
内容概要	内容・概要：ポスター：希望日・氏名・所属・研究分野／手法・AI 活用状況・利益相反：
展示物	寸法／重量／数量／搬入箱数：
電源	□不要　□100V　　W ×　　口　　24 時間通電：□要　□不要
通信	□共用 Wi-Fi　□有線希望　□外部回線持ち込み　　想定通信量：
音・光・撮影	音量、点滅、照明、撮影、収録の有無と安全対策：
食品・化学物質等	□なし　□あり（内容・数量・安全対策・必要許可を記入）
搬入出	搬入方法／車両の有無／運送会社／当日責任者連絡先：
出展スタッフ	氏名・所属（2 名まで。追加は要申請）：
広告データ	ファイル名／形式／サイズ／色／動画尺／音声：
担当者	氏名：　　E-mail：　　TEL：
請求先	担当者と異なる場合のみ記載（名称・住所・宛名・E-mail）

確認・同意

□募集要項、取消規定、会場規定を確認し、その内容に同意します。
□申込内容および提供素材について、必要な権利・許諾を有しています。
□反社会的勢力に該当せず、これらと関係を有していません。
□展示物・広告素材の権利処理、安全管理、法令上の許認可を申込者の責任で行います。
□会場・主催者の指示に従い、終了後に原状回復します。
□内容審査、配置変更、表現修正、実施見送りの可能性を了承します。

申込日	202　年　　月　　日		
署名者	役職：	氏名：	印／署名